第５次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート（主要事務事業用）　【一般会計】　整理番号 08020301

事務事業名	博物館施設管理事業		事業期間	～　年度	係内番号	01
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）		連絡先	73-0300

計画（PLAN）

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	01	社会教育推進計画	0301	博物館の運営と機能の維持		

予算事業名	博物館施設管理費	会計コード	01	款	10	項	05	目	08	事業	03

事務事業の概要（簡潔にわかりやすく）	博物館施設の維持管理をすると共に機材などのメンテナンスを行い、内外の美観保持にも配慮しながら来館者に親しまれる運営を行う。
現状と背景（どうして）	耐用年数を超えた機械類などの修繕及び取替えや、草木の手入れを行い美観を整え、施設の維持を実施していく。
目的 対象 受益者（誰のために）	市内外からの来館者
目的 対象 対象（直接働きかける）	来館者及び設備管理委託業者
目的 意図（どんな状態にしたいか）	対象となる来館者が施設を十分な状態で使用できる環境を維持していく。 来館者に気持ち良く施設を利用してもらう。
手段・方法（どうやって）	○設備管理・清掃業務委託　○電気保安業務委託 ○芝管理委託　○展示室保守点検委託 ○設備維持管理工事の実施　○日常的な定期点検

評価指標の作成

活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	施設の開閉館、巡視、点検	開閉館等作業回数	回	年間目標実施回数	開館日数
2	前庭の芝刈り込み回数	芝刈り込み実施回数	回	年間目標実施回数	5
3	施設設備管理工事の実施	工事実施回数	回	年間目標実施回数	2
変更履歴					

成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	施設の的確な維持管理	開館支障非発生率	%	（開館日数－支障発生日数）÷開館日数×100	100
2					
変更履歴					

実施状況（DO）

項目			単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費等 (a)			円	22,528,178	15,344,000			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他特定財源		円	3,996,000				
	一般財源		円	18,532,178	15,344,000			
活動指標	開閉館等作業回数	目標	回	299	307			
		実績		299				
		達成率	%	100.00	－	－	－	－
	芝刈り込み実施回数	目標	回	5	5			
		実績		5				
		達成率	%	100.00	－	－	－	－
	工事実施回数	目標	回	2	1			
		実績		2				
		達成率	%	100.00	－	－	－	－
成果指標	開館支障非発生率	目標	%	100	100			
		実績		100				
		達成率	%	100.00	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－

備考：2018年度の「その他特定財源」は、防水等改修工事に係る公共施設整備基金繰入金。
2018年度の活動指標の工事実施回数の目標2件とは、防水等改修工事とハロン消火設備交換工事である。

事務事業名	博物館施設管理事業		事業期間	～	年度	係内番号	01
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）			連絡先	73-0300

事中評価	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化						
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）						
	翌年度方向性	成果					
		コスト					
	課長評価日						

事後評価（CHECK）	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果指標分析 変動要因）		施設設備管理、環境整備などを目標どおり実施し、大勢の方を開館支障なく迎えることができた。				
	総合評価	成果	・予定した防水等改修工事（雨漏りへの対応）、外壁パネル部の脱落防止工事、ハロン消火設備交換工事を実施した。 ・正面玄関雨樋修繕、Free Wi-Fiの接続不良、北側休憩コーナーのブラインド脱落防止への対応をした。				
		課題	建設後30年が経過し、施設設備の老朽化が目立つ。水道水に異物を確認。それが影響し、トイレの流し水が止まらないことが時折生じている。異物は、人体への健康影響はないと思われるとの調査結果。加えて、漏水があり、これらへの対応が必要である。このほか、計画的に、高圧受電設備取替え、空調設備中央監視装置改修、冷却塔自動制御機器改修、冷温水発生機交換、受水槽加圧給水ポンプ改修、東側休憩コーナーのブラインド改修が必要である。なお、中央監視装置のタッチパネルが正しく反応しない不具合が時折みられる。				

改革・改善の方向性（ACT）							
	翌々年度方向性	成果	拡充				
		コスト	拡大				
	改革・改善及び成果やコストの方向性の内容		・水道水の異物と漏水の対策を実施する。あわせて、受水槽加圧給水ポンプを改修する。状況から、2019年度の補正等で対応する必要がある。 ・空調の経費（燃料費・電気料）の縮減として、各系統の部屋の使用状況に応じて、毎日、熱源と空調機の入り切りを設定し直す。 施設設備が老朽化しているため、日常点検とメンテナンスに気を配り、施設管理業者からの通報に迅速に対応し、対応遅れによる経費の増大を防いでいく。 2019年度で、施設管理・清掃業務の長期継続契約が終了となるが、防火設備点検業務の一体化と、除雪業務の分離を検討する。 ・2018年度に防水等改修工事とハロン消火設備交換工事が終了するが、高圧受電設備取替え、空調監視装置の改修、東側休憩コーナーブラインドの脱落防止をしていく必要があるので、拡大とする。				

作成担当者	両角英彦				
最終評価責任者	両角勝元				
最終評価年月日	元．5．17				

第５次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート（主要事務事業用）　【一般会計】　整理番号 08020302

事務事業名	資料収集･保管事業		事業期間	～　年度	係内番号	02
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）		連絡先	73-0300

計画（PLAN）

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	01	社会教育推進計画	0301	博物館の運営と機能の維持		

予算事業名	資料収集・保管事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	08	事業	04

事務事業の概要（簡潔にわかりやすく）		自然や歴史・民俗などの資料を収集・保管し、活用する。
現状と背景（どうして）		地域の自然や文化が自然環境の変化や開発、生活の習慣の変化により失われていく。
目的	対象 受益者（誰のために）	市民全体
	対象 対象（直接働きかける）	市内を中心とした自然や歴史などの文化財
	意図（どんな状態にしたいか）	次世代へ資料や文化を引き継ぐ。
手段・方法（どうやって）		博物館職員が、資料の収集・保管を日常業務として行う。

評価指標の作成

	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
活動指標 1	どのくらい資料を収集するか	所有資料数	点	年度末における所有資料の総数	53,000
活動指標 2					
活動指標 3					
変更履歴					

	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
成果指標 1	収蔵資料の台帳化	台帳化率	%	所有資料数÷台帳化数×100	100
成果指標 2					
変更履歴					

実施状況（DO）

項目			単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費等 (a)			円	3,018,775	174,000			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他特定財源		円					
	一般財源		円	3,018,775	174,000			
活動指標	所有資料数	目標	点	50,300	50,300			
		実績		50,282				
		達成率	%	99.96	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－
成果指標	台帳化率	目標	%	100	100			
		実績		8				
		達成率	%	8.00	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－

備考：1年おきに展示室・収蔵庫の燻蒸を実施するため、事業費に増減がある。

事務事業名	資料収集・保管事業		事業期間	～	年度	係内番号	02
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）			連絡先	73-0300

事中評価	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化						
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）						
	翌年度方向性	成果					
		コスト					
	課長評価日						

事後評価（CHECK）	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果指標変動要因分析）		・平成30年度は、開館30周年記念事業が多く、時間的・人的余裕がないため、資料整理がほとんどできなかったため、達成値は低い。				
	総合評価	成果	・本年度に整理した主要な収蔵資料は図書類であるが、図書の検索は、引き続いてしやすくなっている。				
		課題	・古文書や寄贈された民俗資料を、台帳化していかなければならないが、時間的、人的余裕がないため、平成30年度はほぼ作業ができなかった。作業ができないと、今後の企画展などの展示に支障が出る。				
改革・改善の方向性（ACT）	翌々年度方向性	成果	拡充				
		コスト	拡大				
	改革・改善及び成果やコストの方向性の内容		・当面は、博物館学芸員が、ノルマをもって、整理作業を行っていく。 ・2020年度は、燻蒸を行うので、拡充・拡大とする。				

作成担当者	柳川英司				
最終評価責任者	両角勝元				
最終評価年月日	元．5．17				

第５次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート（主要事務事業用）　【一般会計】　整理番号 08020303

事務事業名	八ヶ嶽岳麓文芸館事業		事業期間	～	年度	係内番号	03
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）			連絡先	73-0300

計画（PLAN）

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	01	社会教育推進計画	0302	博物館事業の充実		

予算事業名	八ヶ嶽岳麓文芸館事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	08	事業	05

事務事業の概要（簡潔にわかりやすく）	博物館内に併設された施設で、岳麓地域に関わるものを中心に今昔の歌人、俳人、文人達の文化資料を展示し、多くの方に郷土の文芸を紹介している。 個人所有の文化資料の調査、研究及び保存に関する事業も行う。
現状と背景（どうして）	昔に学び、文芸を尊び、今につながる館として平成１２年１０月に設置された。
目的 対象 受益者（誰のために）	茅野市民及び博物館来館者
目的 対象 対象（直接働きかける）	同上
目的 意図（どんな状態にしたいか）	文化資料を展示し、より多くの方に郷土の文芸を紹介するとともに、市内に現存する文化資料の調査・研究を行う。
手段・方法（どうやって）	展示資料の一部を、新しい資料に展示替えしていくことにより、多くの資料を紹介していく。 また、文化資料の調査・研究を行う。

評価指標の作成

活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	文芸館の展示替えを行う	展示替え実施回数	回	年間展示替え数	3
2					
3					
変更履歴					

成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	年間入館者数が増加する	年間入館者数	人	文芸館を含む総合博物館年間総入館者数	20,000
2					
変更履歴					

実施状況（DO）

項目			単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費等 (a)			円	73,346	73,000			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他特定財源		円					
	一般財源		円	73,346	73,000			
活動指標	展示替え実施回数	目標	回	3	3			
		実績		3				
		達成率	%	100.00	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－
成果指標	年間入館者数	目標	人	16,000	16,500			
		実績		17,715				
		達成率	%	110.72	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－

備考	近年の年間入館者数、H27・12,150人、H28・13,445人、H29・16,520人。

事務事業名	八ヶ嶽岳麓文芸館事業		事業期間	～	年度	係内番号	03
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）			連絡先	73-0300

事中評価	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化						
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）						
	翌年度方向性	成果					
		コスト					
	課長評価日						

事後評価（CHECK）	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果指標分析 変動要因）		開館30周年記念事業の実施により、年間入館者数は17,715人となり、目標を達成することができた。				
	総合評価	成果	昨年度から引き続いて「がんばれ小平奈緒選手」展、「開山　小尾権三郎」展、「茅野市60年　博物館30年」展を開催し、文芸館を活用することができた。				
		課題	八ヶ岳総合博物館は、企画展示室が文芸館となっているので、博物館の企画展を行う場合、文芸館の展示を撤去することになる。また、文芸館の展示をする時間的、人的余裕がなく、文芸館の展示を行うことは、すぐにはできない。				
改革・改善の方向性（ACT）	翌々年度方向性	成果	現状維持				
		コスト	現状維持				
	改革・改善及び成果やコストの方向性の内容策		・文芸館関連資料の把握を行うために、再度、資料確認を行い、展示を今後どのように行っていくかの計画を立てなければならない。 ・八ヶ岳総合博物館の企画展を文芸館で行わなければならないので、博物館企画展と併せて、柔軟に運用していく必要がある。				

作成担当者	柳川英司				
最終評価責任者	両角勝元				
最終評価年月日	元．5．17				

第５次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート（主要事務事業用）　【一般会計】　整理番号 08020304

事務事業名	市民研究員養成事業		事業期間	～　年度	係内番号	04
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）		連絡先	73-0300

計画（PLAN）

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	01	社会教育推進計画	0304	産学公民連携の推進		

予算事業名	市民研究員養成事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	08	事業	06

事務事業の概要（簡潔にわかりやすく）	市民研究員養成事業は、博物館活動などに関心をもつ人に対して、地域の自然史研究や科学教育の振興などを担う市民を育成・支援するもので、調査研究を学芸員と共に進め、博物館活動を活発にしていくものである。一層の参加を促していく。
現状と背景（どうして）	現在の博物館の職員数、学芸員数では地域の自然資料を調査収集できるものではなく、市民に力をつけていただき、その力を借りて、これらの博物館活動を推進し、活発化させるため実施する。
目的 対象 受益者（誰のために）	博物館を利用する一般市民。
目的 対象 対象（直接働きかける）	博物館を利用する一般市民。 博物館のテーマである茅野市の自然、文化、歴史、産業、民俗に関心のある一般市民。
目的 意図（どんな状態にしたいか）	市民の博物館活動を支援し、それを広げていく。
手段・方法（どうやって）	市民研究員を養成する講座を開催し、調査実習活動や講演会に参加し、課程を修了した方に市民研究員認定証を交付する。認定者は、グループ活動の中で講師をサポートする。また、提案が認められると新たな学習分野を立ち上げることができる。

評価指標の作成

活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	市民研究員養成講座の開催	開催回数	回	養成講座の開催回数	120
2					
3					
変更履歴					

成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	市民研究員養成事業への参加	参加者数	人	養成講座への参加者数（実質人数）	100
2	学習分野が増える	学習分野数	グループ	学習分野数（グループ数）	10
変更履歴					

実施状況（DO）

項目			単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費等 (a)			円	483,738	1,388,000			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他特定財源		円					
	一般財源		円	483,738	1,388,000			
活動指標	開催回数	目標	回	72	84			
		実績		107				
		達成率	%	148.61	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－
成果指標	参加者数	目標	人	72	74			
		実績		79				
		達成率	%	109.72	－	－	－	－
	学習分野数	目標	グループ	10	7			
		実績		6				
		達成率	%	60.00	－	－	－	－
備考	学習分野数…2016年度、5グループ（植物、きのこ、シダ、実験工作、天文）。2018年度、語り伝承が発足し、6グループ。2019年度、コケグループが発足し、7グループ。							

事務事業名	市民研究員養成事業		事業期間	～	年度	係内番号	04
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）			連絡先	73-0300

事中評価	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化						
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）						
	翌年度方向性	成果					
		コスト					
	課長評価日						

事後評価（CHECK）	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果指標分析 変動要因）		養成講座第2期（3年）は、2016年4月、5グループ・63人でスタートし、第2期終了時点（2019年3月）で、6グループ・79人となった。参加者を1年に約3人増加させたいとの目標であるので、目標は達成した。また、学習分野は1グループ増えた。 2019年度からの第3期は、さらに1グループ増え、7グループ・70人でスタートする。2019年度、重点取組事業。				
	総合評価	成果	市民研究員の活動により、調査研究、資料収集保管、教育普及といった博物館活動が推進されている。（植物系のグループにより標本資料が、語り伝承グループにより口述記録が蓄積されている。実験工作、天文グループにより博物館の講座が運営されている。） 2018年度の養成講座の延べ参加者数は696人にのぼる（2018年12月）。				
		課題	・市民研究員がその活動の成果を発揮する機会を増やす必要がある。（例えば、植物グループ主体の自然観察路の観察会の開催） ・調査研究のための書籍や機材については、要望をお聞きしながら検討する。 ・2018年度末に、新たに指導者が必要になった。（謝礼が必要） ・グループ数の増により、土日に部屋が不足する状況がある。（現状、調整可能）				

改革・改善の方向性（ACT）							
	翌々年度方向性	成果	拡充				
		コスト	拡大				
	改革・改善策及び成果やコストの方向性の内容		・市民研究員養成講座をPRし、参加者を増やす。 市民研究員の活動を紹介するよう、コーナーを設置する。（自前） 市民研究員対象の講演会、観察会などを市民に案内し、「市民研究員」を知ってもらう機会とする。 市民研究員とともに実施する観察会などを検討する。 ・語り伝承グループ活動記録集分が減額となるが、指導者の謝礼の増があるので、拡充・拡大とする。				

作成担当者	渡辺真由子				
最終評価責任者	両角勝元				
最終評価年月日	元．5．17				

第５次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート（主要事務事業用）　【一般会計】　整理番号 08020306

事務事業名	特別展等事業		事業期間	～　年度	係内番号	06
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）		連絡先	73-0300

計画（PLAN）

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進	中
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業	
			実行計画	01	社会教育推進計画	0302	博物館事業の充実	

予算事業名	特別展等事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	08	事業	08

事務事業の概要（簡潔にわかりやすく）	教育普及・展示会は博物館の使命の一つである。市民に多くの教育機会を提供し、魅力的な展示会を開催していく。本事務事業は、従来5つに分かれていた下記の事務事業評価を統合したものである。①「常設展・特別展開催事業」②「講演会・研究会・講習会開催事業」③「こども科学クラブ事業」④「学校支援事業」⑤「観望会事業」
現状と背景（どうして）	常設展示だけでは、多くの市民が集う活発な博物館にはならない、多くの教育機会を提供し、展示会を開催することで博物館は活性化していく。
目的 対象 受益者（誰のために）	市民全体及び来館者。
目的 対象 対象（直接働きかける）	同上
目的 意図（どんな状態にしたいか）	向学心を持つ市民に対し多くの学習の場を提供し、様々な市民を知的に刺激する展示会を開き、最終的に来館者を増加させる。
手段・方法（どうやって）	資料を展示し、チラシ・パンフレットを作成し広報をする。また、図録を作成する。

評価指標の作成

活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	特別展などを実施する。	事業実施率	%	特別展、企画展、講演会、講座などの実施数÷計画事業数×100	100
2					
3					
変更履歴					

成果指標	成果・効果は何？	指標名称	%	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	年間入館者数が増加する。	年間入館者数	人	年間の入館者数	20,000
2					
変更履歴					

実施状況（DO）

項目		単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費等 (a)		円	586,817	1,972,000			
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	586,817	437,000			
	一般財源	円		1,535,000			
活動指標 事業実施率	目標	%	100				
	実績		100				
	達成率	%	100.00	－	－	－	－
活動指標 －	目標	－					
	実績						
	達成率	%	－	－	－	－	－
活動指標 －	目標	－					
	実績						
	達成率	%	－	－	－	－	－
成果指標 年間入館者数	目標	人	16,000	16,500			
	実績		17,715				
	達成率	%	110.72	－	－	－	－
成果指標 －	目標	－					
	実績						
	達成率	%	－	－	－	－	－

備考

2018年度の計画事業数は588。別途、開館30周年記念事業（事業数33）を行った。従前の特別展等事業の予算の大部分が開館30周年記念事業に移行した。
2019年度の計画事業数は560（確定分）。このほか、モバイルプラネタリウムの来館投影、出前投影が見込まれる。近年の年間入館者数と特殊要因の有無。H27・12,150人、H28・13,445人（モバイルプラネタリウム導入）、H29・16,520人（雨予約による入館者の増）、H30・17,715人（開館30周年記念事業実施）。2018年度の特定財源は講座受講料287,800円＋小冊子等売上収入322,600円＝610,400円あり、事業費586,817円を超えるため、差額23,583円は他の事業費に充当される。なお、特定財源610,400円のうち287,800円は、開館30周年記念事業によるものである。

事務事業名	特別展等事業		事業期間	～	年度	係内番号	06
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）			連絡先	73-0300

事中評価	項目	2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）					
	翌年度方向性 成果					
	翌年度方向性 コスト					
	課長評価日					

事後評価（CHECK）	項目	2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果指標変動要因分析）	開館30周年記念事業を実施したことから、従前、この事業の多くを占めた特別展や企画展は記念事業で実施し、2018年度のこの事業は、例年行っている観察会、講座などが中心となった。 記念事業と相まって、前年度以上の入館者、受講者があった。				
	総合評価 成果	・知的好奇心をもつ市民に対し、多くの学習の機会を提供し、それぞれの分野について深めてもらえた。博物館にも、親しんでもらえた。 ・企画展を通じ、地域の貴重な記録を「甲斐駒開山　小尾権三郎」と「写真で見るむかしの茅野市」の図録を出版でき、多くの方が学習のため購入した。				
	総合評価 課題	・社会の動向と市民ニーズを・的確に捉え、企画展を始め各種事業を実施し、市民に多くの学習の機会を提供していく必要がある。　・企画展の開催は、地域の資料を展示公開し、市民に学習の機会を提供するとともに、資料などを調査研究し、図録としてまとめ公開していく機会でもある。こうした経費が企画展開催には欠かせない。　・2020年度は、自然系と歴史系の企画展、関連イベントを実施する計画である。				
改革・改善の方向性（ACT）	翌年度方向性 成果	現状維持				
	翌年度方向性 コスト	縮小				
	改革・改善及び成果やコストの方向性の内容	・記念事業を機会に、新しいメニュー、利用者の選択肢（地域観察会、毎月お楽しみ会、プラネタリウム特別投影、アンコールイベント、自然観察路）を生み出せたので、学校団体などに利用してもらうよう、広報などでPRしていく。 ・市民研究員の協力を得て、観察会などを計画する。（例えば、植物グループによる自然観察路の植物観察会） ・講座の受講者増を目指し、講座終了時に次回講座の案内をする。 ・調査研究の成果を市民に提供するための事業費を現時点で把握し、縮小とする。				

作成担当者	両角英彦				
最終評価責任者	両角勝元				
最終評価年月日	元．5．17				

第５次茅野市総合計画・前期事務事業評価シート（主要事務事業用）　【一般会計】　整理番号 08020310

事務事業名	開館30周年記念事業		事業期間	～　年度	係内番号	10
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）		連絡先	73-0300

計画（PLAN）

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	教育大綱	0301	社会教育の推進		
			基本計画②	02	生涯学習推進指針	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	01	社会教育推進計画	0302	博物館事業の充実		

予算事業名	開館３０周年記念事業費	会計コード	01	款	10	項	05	目	08	事業	09

事務事業の概要（簡潔にわかりやすく）	市制施行60周年、博物館開館30周年の平成30年度に、記念事業を実施する。 記念事業は、「開館記念日（10月25日）付近で開催する事業」と「通年で開催する記念事業」で構成する。 記念事業は、市民研究員、博物館ボランティア、市民有志と共に実施する。 次の事業を行う。　ア.企画展、科学実験イベント等　　イ.冠をつけた通年事業　　ウ.広報、記念品、記念誌
現状と背景（どうして）	八ヶ岳総合博物館は、昭和63年10月25日に開館した。諏訪郡唯一の自然系博物館として運営している。調査・研究・資料収集・展示・教育普及などの活動を通して、市民の茅野市の自然、風土、文芸及びそれとともに生きてきた人々の生き方に関する学習を支援してきた。新たな基幹事業として、プラネタリウム、科学工作などの科学教育を推進している。近年の入館者数は、増加傾向（平成28年度、13,445人）にある。第５次総合計画では、２万人を目標としている。
目的 対象 受益者（誰のために）	市民及び来館者
目的 対象 対象（直接働きかける）	同上
目的 意図（どんな状態にしたいか）	市制施行60周年、博物館開館30周年の平成30年度に、記念事業を実施し、市民の皆さんに、博物館に対する一層の理解と利用促進を図る。
手段・方法（どうやって）	<メイン事業> 企画展「茅野市60年、総合博物館30年」、科学実験イベント <通年記念事業> 特別展「甲斐駒ヶ岳開山小尾権三郎没後200年　甲斐駒ヶ岳開山」、講演会 ほか <例年、実施している事業> 各種講座等

評価指標の作成

活動指標

	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	特別展などの記念事業を実施する。	事業実施率	%	特別展、企画展、講演会などの実施数÷計画事業数×100	100
2					
3					
変更履歴					

成果指標

	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	年間入館者数が増加する。	年間入館者数	人	年間の入館者数	20,000
2					
変更履歴					

実施状況（DO）

項目			単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費等 (a)			円	2,745,446				
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他特定財源		円					
	一般財源		円	2,745,446				
活動指標	事業実施率	目標	%	100				
		実績		100				
		達成率	%	100.00	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－
成果指標	年間入館者数	目標	人	16,000				
		実績		17,715				
		達成率	%	110.72	－	－	－	－
	－	目標	－					
		実績						
		達成率	%	－	－	－	－	－

備考
・計画事業数は33。
・平成30年度限りの事業である。

事務事業名	開館30周年記念事業		事業期間	～	年度	係内番号	10
担当部署	生涯学習部	文化財課	博物館係（八ヶ岳総合博物館）			連絡先	73-0300

事中評価	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化						
	新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策）						
	翌年度方向性	成果					
		コスト					
	課長評価日						

事後評価（CHECK）	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果指標分析 変動要因）		開館30周年記念事業の実施により、新たなメニューを生み出し、博物館の利用促進が図られ、入館者が増加した。				
	総合評価	成果	各種記念事業を通じ、多くの入館者を迎え、博物館への一層の理解と利用促進につながった。				
		課題	今後も、節目の年には、記念事業を実施し、市民に多くの学習の機会を提供し、博物館の利用促進を図っていく。				
改革・改善の方向性（ACT）	翌々年度方向性	成果	休廃止				
		コスト	皆減				
	改革・改善及び成果やコストの方向性の内容		開館30周年記念事業の終了により、企画展、特別展などは、特別展等事業で行うことになる。 地域観察会、毎月お楽しみ会、プラネタリウム特別投影、アンコールイベントなど新たに実施し、関心が高かった講座・イベントは、今後も視点を変えて継続していく。				

作成担当者	両角英彦				
最終評価責任者	両角勝元				
最終評価年月日	元．5．17				